

国際理容美容専門学校の4つの指標・3つのポリシー

設計図なしに家を建てることはできません。同様に学校運営におけるすべての取組みには、**目標達成のための計画とその達成度を評価するための具体的な指標の作成が不可欠**です。

【4つの指標】

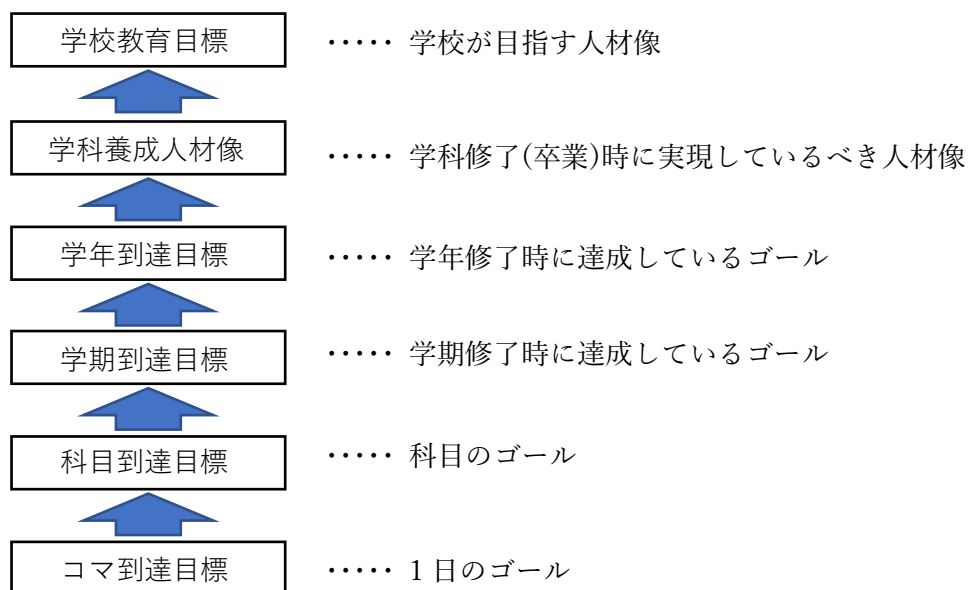
授業の実施に先立ち、次の4つの指標があらかじめ設定されていなければなりません。

1. 学校・学科はどんな人材を養成しようとしているのかというゴール（養成人材像）
2. 節目節目（学年・学期）における到達度合いを評価する到達目標
3. 各授業科目を履修することが、学科の養成人材像の実現にどう関係するのかを示す科目到達目標
4. 各授業回の履修内容が科目の到達目標にどう関連しているのかを示すコマ到達目標

これら4つの指標は矛盾することなく、一貫していなければなりません。

また、学校はこれらの指標を学生に告知・説明し、両者が共有している必要があります。

この関係を図にすると以下のとおりです。



各学科の養成人材像と学年・学期の到達目標は別紙1のとおりです。

また、各科目の到達目標とコマ到達目標は別紙2（シラバス〔教育計画〕）のとおりです。

【3つのポリシー】

学科養成人材像は、学科修了(卒業)時にどんな人材になっていることがゴールなのかということ
文章で表現したものです。

ゴールに到達したかどうかを、より具体的な指標で示したものがディプロマポリシー（DP）です。
どんな知識・技術・技能とコンピテンシー(社会人として望ましい行動特性)を身につけたことが
修了認定の条件となるかということを具体的に示しています。

国際理容美容専門学校 の 4 つの指標・3 つのポリシー

各学科のディプロマポリシー（DP）は別紙3のとおりです。

DP達成のために各学科はどんな教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実践し、学生の学習成果をどう評価するのかを定めたものをカリキュラムポリシー（CP）といいます。

各学科のカリキュラムポリシー（CP）は別紙4のとおりです。

学校・学科の教育理念や DP・CP に基づく教育内容を踏まえて、どのような入学者を受け入れるかを定める基本的な方針をアドミッションポリシー（AP）といいます。

DPやCPは学科ごとに定められていなければなりませんが、APは広く学校全体共通するものとして定められています。

入学希望者が、高校等でどのような学習成果（学力の3要素※）を習得したのか、その判断基準となる指標です。

各学科のアドミッションマポリシー（AP）は別紙5のとおりです。

※（1）知識・技能、（2）思考力・判断力・表現力等の能力、（3）主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度